

めざす児童生徒像

- 未来を拓き、より良く生きる子
- ・心ゆたかな子
 - ・自ら学ぶ子
 - ・たくましい子

学校スローガン
芦城っ子みんなが楽しい みんなが成長できる学校を みんなでつくる

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
（学校重点項目）	主体性・自治力の育成	①②③について、肯定的に答えている児童・教職員・保護者を90％以上にする。	① みんなが楽しい学校となっている。						
			② 挑戦・考動・継続を大事にし、みんなが成長する学校となっている。						
			③ 学級（学校）の成長や課題について、話し合い取り組み、なりたい集団に近づいている。						
			集計						

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					達成状況の分析	改善策
	業務の改善 働き方	①②について、肯定的に答えている教職員を90％以上にする。	① 時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロにする。						
			② 今の仕事にやりがいや誇りを感じている。						
			③ 時間外在校等時間を減少させるために、日課表・時間割等の教育課程を工夫している。						

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。						
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
			集計						
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。						
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
			④ 児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。						
			⑤ 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。						
			⑥ 教員は、多様性を認め、愛情ある指導ができている。						
			集計						
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
			集計						
		学習方法	① 児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。						
			② 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。						
			集計						